



おぎなう  
**補**

**富岡 勝則**

皆さんこんにちは。

多くの方のご協力のもと、第40回朝霞市民まつり「彩夏祭」を開催することができました。関係者の皆さんに心からお礼を申し上げます。連日猛暑ではありましたが、天候にも恵まれ、過去最多に並ぶ98チームが参加した鳴子踊りは大いに盛り上がりを見せました。そのような中、4年ぶりに打ち上げを予定していた花火ですが、設営のトラブルから実施することができませんでした。花火打ち上げにご支援いただいた方々、また花火を楽しみにされていた皆さんには申し訳なく思っています。市民や実行委員の皆さんからは、再度の打ち上げについてのご要望もいただいておりますので、今後の対応について協議してまいります。

さて、市では9月30日(土)午前9時から基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」で、朝霞市総合防災訓練を行います。これは、5年に一度、市と防災

関係機関が一堂に会し訓練を実施することで、連携強化や地域防災の担い手となる自治会等とのネットワークの構築を目的としています。首都圏で30年以内に70%の確率で発生するといわれているマグニチュード7程度の首都直下型地震を想定し、いざという時われわれがとるべき行動や役割を明確にすることで、市民の皆さんの大切な生命や財産を守るとても大切な訓練です。参加団体は、自衛隊や警察署、消防署、消防団、自治会・町内会、災害時相互応援協定4市など多岐に渡り、実施する訓練も、バイクによる情報収集伝達訓練や救出・救護訓練など実践的なものです。さらに、同時開催の防災フェアでは、以前このコラムで紹介した、株式会社丸沼倉庫が所有するトイレトレーラーも展示しますので、ぜひご来場ください。

ところで、皆さんは「地域防災計画」をご存じですか。この計画は、朝霞市で地震や風水害等の災害が発生した際の、防災対策全般について規定しています。現行の地域防災計画は平成28年3月に策定しましたが、その後の状況の変化に対応するため、今年から2年をかけて見直すことにしました。前述した総合防災訓練と同様、いざという時に備えるため、防災会議のご意見も踏まえながら、より具体的な計画となるよう策定を進めてまいりたいと考えます。

では、また。

## ▶ ペット防災

問／環境推進課 ☎463-1504

飼い主は災害時、ペットと一緒に避難すること（同行避難）が基本です。市では避難所における同行避難について次のとおり推進しています。

○原則、ペットは屋外での専用スペースに避難します。

○雨天時等は屋内の専用スペースを利用できますが、

飼育ケージ・キャリー・カゴなどに入っている小型の動物であることが条件です。

なお、避難所にペット用の備品はありません。飼い主が備品を用意し、世話をしましょう。



### 日頃からしつけをしよう！

避難所の限られたスペースで、飼い主・ペット・他の避難者のストレスを減らすために、日頃のしつけや準備が必要です。飼い主は、ペットが嫌われないためにもマナーを守りましょう。

- 決められた場所で排泄をさせる
- 鑑札・迷子札・マイクロチップを装着する
- ケージに慣れさせる
- 社会性を身につけさせる
- 各種ワクチンの接種や寄生虫の予防・駆除



### 避難方法の検討を！

ペットが慣れている、親族宅や知人宅などに避難できないか選択肢を検討してみましょう。ペットや飼い主にとって、避難所の過密状態を避けられるなどのメリットがあります。

### なぜ「ペットも避難」なのか？

東日本大震災では、家に残されたペットの救出などに多大な時間と労力が必要となりました。

また、ペットが理由で避難しないことは、飼い主自身にも危険が及びます。災害時、ペットと安全に避難するためにも、日頃からの心構えと備えをしましょう。

### ひとの推移

人 □ 144,749人（-203人）      男 72,868人（+43人）      女 71,881人（-246人）  
世帯数 69,876世帯（-187世帯）  
令和5年8月1日現在（ ）内は前月比